



JHD-400PRO

USER'S GUIDE



安全の為に確認下さい

JINBEI JHD-400PROをご購入いただき、誠にありがとうございます。本取扱説明書には組立、安全なご利用に関する大切なご案内が記載されています。本書を熟読の上、正しくご利用下さい。また、お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお役立て下さい。なお、本書の無断転載・2次使用を禁止します。

- ⚠ 可燃性液体が接触する可能性のある環境、雨天時や水中のご利用、保管は絶対におやめ下さい。
- ⚠ 強磁界、及び粉塵の多い環境でのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ 温度変化の激しい場所や炎天下の車中などでのご利用、保管は避けて下さい。
- ⚠ フラッシュチューブやモデリングランプは素手で触らないで下さい。
- ⚠ バッテリーの過放電、過充電、専用充電器以外での充電は絶対におやめ下さい。
- ⚠ バッテリーの膨張、発熱、その他異常が見られる場合には使用、及び、充放電を避けて新しいバッテリーをご準備下さい。
- ⚠ 充電器をコンセントに差し込んでから充電器をバッテリーに接続してください。充電完了後は速やかに充電器を外して下さい。
- ⚠ 筐体内への金属パーツの混入等にお気をつけ下さい。
- ⚠ 濡れた手や濡れた布で製品に触れないで下さい。感電の恐れがあります。
- ⚠ 代理店以外による分解、改造、修理は禁止です。これらの形跡が認められた場合、保証期間は無効になり全ての保証対象外となります。
- ⚠ 使用する前に、ティルトハンドルをしっかりと締めてください。
- ⚠ 被写体の至近距離での発光は健康被害を引き起こす恐れがあります。絶対におやめ下さい。

その他 利用上の注意

◆無償保証期間は1年間です◆各部のネジは締めすぎないようにご注意ください。ネジが破損する場合があります◆プラグの抜き差しはプラスチック部分をしっかりと持ってゆっくり行ってください◆コードを引っ張る等の行為は絶対におやめください◆小さいお子様の手の届かない環境で運用してください◆バッテリーは消耗品です。定期的な交換をおすすめします◆ご使用方法や環境次第ではスペック通りの性能が引き出せない場合があります◆無償保証期間は当製品の耐久性を保証するものではありません◆オムニバスを含む弊社契約店以外からのご購入品は保証対象外です。

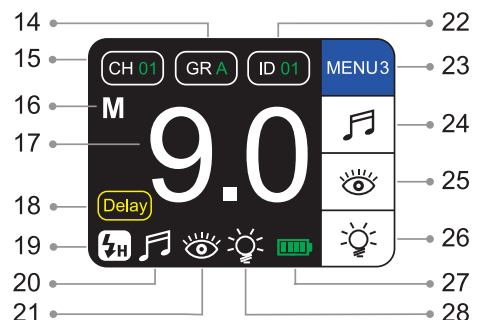
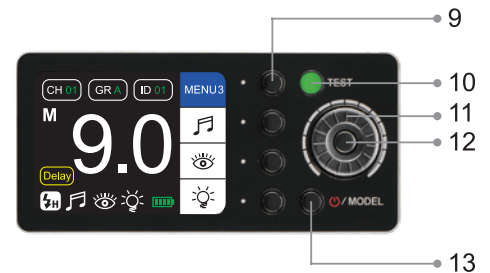
お届け内容

- | | |
|----------------------|----|
| 1. JHD-400PRO本体 | 1台 |
| 2. リフレクター | 1個 |
| 3. JHD-400PRO専用バッテリー | 1個 |
| 4. 専用充電器 | 1個 |
| 5. 専用カラーフィルター5色 | 5枚 |
| 6. 専用セミハードケース | 1個 |
| 7. キャリングベルト | 1個 |



各部名称

1. ガラスプロテクター
2. アクセサリーロック解除ボタン
3. ライトスタンド固定ネジ
4. バッテリーロック解除ボタン
5. バッテリー残量インジケータ
6. バッテリー残量チェックボタン
7. アンブレラホール (8mm)
8. ティルトハンドル
9. ファンクションボタン
10. テスト発光ボタン
11. 調光ダイヤル
12. 決定ボタン
13. モデリングランプ / 電源ボタン
14. グループ設定 : A/B/C/D/E/F/G/H/I/J
15. チャンネル設定 : 00~15
16. マニュアルモード / TTLモード
17. 出力(補正值)
M(1.0~9.0) / TTL(±3.0) / HSS(4.0~9.0)
18. ディレイモード
19. 発光モード
通常 **NOR** / HSS **FH** / フリーズ **FRE**
20. チャージ完了音
21. スレープモード
22. ID表示(Canon仕様)
23. メニューページ数
- 24、25、26は本ガイドのP.3を参照ください
27. バッテリー残量
28. モデリングランプ



専用電池の装着



① バッテリーと本体のガイドを合わせて
 ② 滑らせるように装着します。
 「カチッ」という音がするとロック完了です。バッテリーが外れないことを確認して下さい。
 取り外す場合にはロックボタンを解除してから取り外します。**落下に注意して下さい。**

専用電池の充電

- 電池背面には残量表示のインジケータがあります。
- レベル4 : 100-75% 充電不可
 - レベル3 : 75-50%
 - レベル2 : 50-25% 充電可
 - レベル1 : 25-5% 要充電
 - レベル0 : 5%未満 過放電により破損の危険有

電池の残量表示が25%を示したら充電の準備を始めて下さい。(低残量時は本機を駆動出来ません)
 専用充電器(16.8V / 2.8A)でおよそ3時間で満充電となります。**過放電・過充電は厳禁です。(バッテリーの故障、破損、安全上の問題が発生する場合があります。)**

リチウムイオン電池の特性、性能などについて

- ▽新品のバッテリーは2,3回の充放電後に最高の性能を発揮します。
- ▽設計上、およそ300回の充放電が可能ですが、ご利用の環境や個体差で前後します。
- ▽使用頻度に比例してバッテリーは劣化し、充電可能容量が減っていきます。
- ▽環境温度はバッテリーの充放電性能に影響します。適正温度は15度～25度です。
- ▽屋外での利用時には通常よりも短い時間での利用になる場合があります。
- ▽バッテリーの膨張、発熱、その他異常が見られる場合には使用、及び、充放電を行わず、新しいバッテリーをご準備下さい。

リチウムイオン電池の充電について

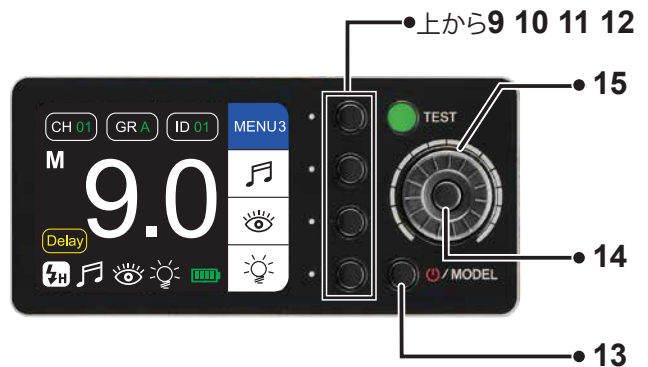
- ▽過放電はバッテリー容量に影響を及ぼし、故障の原因となりますのでご注意ください。
- ▽ストロボ液晶、バッテリー上の残量表示を参考に、早めの充電をおすすめします。
- ▽使用後は10分程度の冷却時間を設けてから充電して下さい。
- ▽充電器をコンセントに繋いだ後に電池と接続します。
- ▽充電は乾燥した可燃物の無い場所で行ってください。
- ▽専用充電器以外の充電器は使用禁止です。
- ▽充電器上のLEDで充電状態を確認し、充電完了後は速やかに取り外して下さい。
- ▽保管中の場合、3ヶ月に1回は充放電のサイクルを行い、満充電で保管して下さい。

リチウムイオン電池の取扱と保管について(長期間利用しない場合)

- ▽電池を分解・改造することは禁止です。
- ▽電池の接点を短絡させることは禁止です。
- ▽水や火の中に電池を廃棄することは禁止です。
- ▽車中等、高温・低温環境にさらさないでください。
- ▽電池に過度の衝撃や振動を与えないでください。
- ▽他の目的のために電池は使用できません。
- ▽長期間使用しない場合は予め満充電にして保管して下さい。
- ▽涼しく乾燥した場所に保管して下さい。
- ▽子供の手の届かないところに保管して下さい。

基本操作

- ①バッテリーをセット 前項を参考に、満充電状態のバッテリーをセットする。
- ②電源ON 電源ボタン13を製品ロゴの起動画面が現れるまで押す。
- ③設定・利用 本書各項を参考に、各機能を設定する。
- ④電源OFF 電源ボタン13を画面が暗くなるまで押す。



設定方法 (TR-Q6/Q7/V6)

別売りのTR-Q6/Q7を使用する際には、マニュアルモードの他に、対応各社のTTLやハイスピードシンクロが可能。一部機能についてはリモコンから設定、またはリモコン上の設定が優先されるため、**操作手順の①、②、必要に応じて手順⑤ (TTL初期値設定が必要な場合)のみ設定**するだけで初期設定が完了します。

操作手順	操作ボタン	MENU	TTL	Manual
①無線設定	9,12	1	リモコンに合った無線モードを選択※1	TTL-ALL(Q7) TTL-C/N/S/F(Q6) CH/GR(V6)
②CH/GR設定	9,10,11,12,14,15	2	リモコンと同じCH, GRを設定。TTL-Cの場合は純正品同様のID設定も可能※1	
③その他設定	9,10,11,12	3	モデリングランプのProp※3、チャージ完了音※4、光スレーブON/OFF※5を設定	NOR FRE
④シンクロモード設定	9,11	1	「ノーマル」「HSS」を選択※2※8 NOR ⚡	「ノーマル」「フリーズ」を選択※2※5※6
⑤モード設定・調光※2※8	9,10,14,15	1	「TTL」を選択、補正値を入力※7	「M」を選択

※1. TTLはTR-Q6/Q7を利用する場合のみ有効。IDはCanon用のみ
 ※2. リモコンで変更可能、上書き対象(HSSはリモコンからの信号で自動切替)
 ※3. TR-Q6/Q7/V6上からON/OFF可
 ※4. TR-Q7/V6上からON/OFF可
 ※5. 本体でのみ設定可能
 ※6. 設定したモードが初期値となる
 ※7. ストロボ本体の補正値が初期値となる(本体補正値+リモコン補正値=総補正値)
 ※8. TR-V6では利用不可

メニュー

液晶表示直下のボタンを押すことで、機能の切替、選択が可能です。★がつく機能は、リモコン使用時にリモコン上の設定が優先される事があります。

MENU1 MODE SYNC ((P)) C

MODE M/TTL マニュアル/TTL切替★

SYNC フラッシュモード切替

- NOR** ノーマルモード
- H** ハイスピードシンクロ (対応リモコン使用時。出力制限5.0-9.0)
- FRE** フリーズモード (閃光速度最高1/19000秒、Mモード時のみ)
※フリーズモードは色温度が極端に高くなります。

((P)) ワイヤレスモード状態

- | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| TTL-ALL TR-A7のみ | CH/GR TR-V6 (HSS/TTL不可) |
| TTL-C CanonTTL (TR-Q6C) | CH TRS-V (HSS/TTL不可) |
| TTL-N NikonTTL (TR-Q6N) | |
| TTL-S SonyTTL (TR-Q6S) | |
| TTL-F FujifilmTTL (TR-Q6F) | |

MENU2 CH GR ID

- CH** チャンネル切替 (00-15)
- GR** グループ切替 (A-J)
- ID** ID切替 (00-99) ※TTL-Cの時

! ▼各ファンクションボタンを押すと、選択状態に切り替わります。選択状態のまま、「調光ダイヤル」を回すと各値を変更、押すことで決定可能です。
▼ID機能はCanon製電波式スピードライトとの同調を可能にします。CHとIDの設定値を同一にする必要があります。

MENU3

- チャージ完了音ON/OFF★**
- 光スレーブON/OFF★**
- モデリングランプON (出力比例 PRO / 出力手動 1.0~9.0)★**

! ▼モデリングランプを消す場合には、電源ボタンを短く1回押します。
▼チャージ完了音がオフの場合でも操作音等は発生します。

MENU4 EasyCap All 1 No. 1

- EasyCap** 多重発光 (イージーキャプチャー) モード ON/OFF
- All 2** 発光グループ数
- No.1** 発光順序

! ▼複数のライトを別々のシャッタータイミングで発光させるモードです。スタジオ撮影において、マスク用途の切り抜き作業などで利用します。
《例》
発光グループを「3」、発光順序を「3」に設定したライトは、1回目と2回目のシャッター (シンクロ信号) では光らず、3回目のシャッターに同調して発光します。

MENU5 Delay 00.00

- マスターモード**
- Delay** 発光ディレイ
- 00.00** デレイタイマー設定 (00~30秒/0.01秒単位)

! ▼マスターモード時はフラッシュの同調のみが有効になります。その他設定はトリガーからは出来ません。
▼ディレイ設定時は、シンクロ信号受信後ディレイタイマー設定時間経過時に発光します。

機能特徴・注意事項

- ◆TTL TTL TR-Q6/Q7により対応。カメラ機種、設定、環境、ストロボ設定などにより、測光値や補正値が変わる場合があります。また、TR-Q6ではTTL測光によるストロボ出力値をマニュアルモードに引き継ぐことは出来ません。
- ◆HSS 高速シャッター TR-Q6/Q7により対応。カメラ機種、設定、環境、ストロボ設定などにより、効果が異なる場合があります。ノーマルモードと比較して色温度が上がります。出力範囲が5.0-9.0に制限されます。
- ◆Freeze Mode フリーズモード 最速1/19000秒の閃光速度。クリップオンストロボを凌ぐ閃光速度が得られます。色温度が上昇します。
- ◆Delay Mode 遅延発光 シンクロ信号の受信後、最長30秒までの間で設定した時間経過後に発光します。
- ◆Capture Mode 多重発光 任意のシャッター回数で発光します。複数回のシャッターをきる合成作業に利用します。
- ◆Charging 充電 バッテリーに充電しながらの利用が可能です。
- ◆OverHeatProtection 安全回路 内部温度計で常時計測し、オーバーヒート時には自動的に機能を停止します。
- ◆Continuous Capture 連写性能 出力が1.0-3.0の間の場合、秒間20発に迫る連写に追従します。なおバッテリー残量や電波状況により変化します。